

# 清らかな源流の里 県南農林だより

第6号



地方植樹祭  
(西白河郡西郷村)

## 農林業関係の動き

### ■新生運動県南地方推進本部会議を開催しました

6月30日(火)、白河市役所表郷庁舎大会議室において、本部員25名出席の下、「食」と「ふるさと」新生運動県南地方推進本部会議を開催しました。

会議では、平成26年度の活動実績と平成27年度の活動計画について了承され、意見交換を行いました。

各本部員からは、農林水産物の出荷前検査及び米の全量全袋検査の継続、市町村の顔となる特産品の開発の必要性、生産者と消費者との交流の活性化、他の産地に負けない売れる商品の生産・開発、販売力の強化などの意見が出されました。

各本部員が行っている様々な取り組みにより、県南地方としてまとまりを持って新たな方向に進むことが期待されます。(企画部)

## 目次

### 農林業関係の動き

- ◇新生運動地方本部会議
- ◇白河の野菜PR
- ◇ふくま森林再生事業の労働力確保
- ◇農業再生協議会連携会議
- ◇第65回地方植樹祭
- ◇田んぼの学校in埴小学校

### コラム

- ◇農業施設の紹介

### お知らせ

- ◇新規需要米の取組計画書の提出期限延期
- ◇農地の借り受け希望者の募集
- ◇おいしいふくまいただきますキャンペーン
- ◇熱中症に注意
- ◇県産農林水産物安全・安心ツアー
- ◇農産物モニタリングについて

### ■白河の野菜 安全安心PR・風評被害防止イベントを開催しました



PRの様子

5月7日(木)、8日(金)、東京都大田市場及び日本橋ふくしま館「MIDETTE」において、「白河の野菜 安全安心PR・風評払拭イベント」が開催されました。

大田市場では、西白河地方の各市町村長、県の関係者、薄井JAしらかわ代表理事組合長らによるトップセールスが行われ、市場関係者にブロッコリーやトマト、きゅうりを振る舞いました。

市場関係者からは、風評の影響はほとんど無く、白河の野菜を待ち望む声が聞かれました。

「MIDETTE」では、来店者に白河野菜の詰め合わせをプレゼントしました。

用意した、100名分のプレゼントは瞬く間になくなり、その後も店内には、野菜や加工品を買い求める人が引きも切らず訪れ、「甘い」「軟らかい」「おいしい」「どこに行ったら買えますか？」などの言葉が飛び交い、「安全安心で元気な白河の野菜」をたっぴりと実感していただきました。(農業振興普及部)

## ■ふくしま森林再生事業の労働力確保に向けた意見交換会



意見交換会の様子

5月26日(火)、ふくしま森林再生事業の労働力確保に向けた第2回目の意見交換会が開催され、国(森林管理署)、市町村などの関係機関や林業事業者等併せて24機関から35名が出席しました。

今回は、県や市町村の平成27年度事業計画を公表し、林業事業者の労働力の現状など円滑な事業実施に向けた意見交換を行いました。

当事業は、東日本大震災の影響で整備が停滞した森林の再生を図るため、平成25年度に始まり、今年度からは管内の全市町村で取り組まれています。

しかし、事業が本格化し、事業者の労働力確保が円滑な

事業実施のための課題となり、これまで主に国有林事業に取り組んできた事業者等と連携を図るため、意見交換を定期的を実施しています。(森林林業部)

## ■県南地方農業再生協議会連携会議がスタート！



出席者から活発な意見が出されました

5月27日(水)、各市町村農業再生協議会、農業協同組合、東北農政局いわき地域センター、公益財団法人福島県農業振興公社、県農業担い手課、県南農林事務所が出席し、県南地方の農業農村の持続的な維持発展を図るため、県南地方農業再生協議会連携会議を設立しました。

会議では、県農業振興公社から、農地中間管理事業の推進について説明した後、各市町村から今後の推進計画及び課題(意欲ある担い手の育成・確保と集落営農の推進、人・農地プランの作成・更新、農地中間管理事業の推進、経営所得安定対策)について情報交換しました。

その後、市町村毎に県南農林事務所の担当と打合せをして、今後の活動計画について検討しました。

今後は、各市町村のサポートチームで、担い手の育成・確保と集落営農、農地中間管理事業の推進等について具体的に取り組んでまいります。(農業振興普及部)

## ■第65回地方植樹祭・源流の郷にしごう植樹祭が開催されました！



緑の誓いを述べる緑の少年団代表

6月3日(水)、国土緑化西白河地方推進委員会・西郷村の主催で、「第65回地方植樹祭・源流の郷にしごう植樹祭」が堀川ダムで行われました。

式典では、主催者の式辞・あいさつの後、三村博昭県議、県南農林事務所長、東白川地方町村会の菊池基文埗町長が祝辞を述べ、米小学校緑の少年団団長の安達大凱さんと川谷小学校緑の少年団団長の徳橋溪介さんが、力強く緑の誓いを述べました。

式典終了後、代表者によるヤマザクラ・ヤマボウシの記念植樹が行われ、続いて参加者全員によるシャクナゲの植樹活動が行われました。

来年は、白河市で行われる予定です。(森林林業部)



## ■平成27年度 田んぼの学校in埴小学校「生き物調査」



春本氏の講義

6月29日(月)、埴小学校学校田の周辺において、5年生47名を対象に、今年度2回目となる田んぼの学校「生きもの調査」を開催しました。

今回は講師にアクアマリンふくしまの春本氏を招き、生き物の捕り方を教わり、その後、3人一組となって生き物を採取しました。

ドジョウ、タニシを始め、今では希少となったタガメ、ゲンゴロウ、サンショウウオのこどもなども発見できました。

子供たちは、初めのうちは怖がったりして、見つけた生き物に触れませんでした。時間が経つにつれて、ほとんどの生き物に触ることができるようになりました。

また、見つけた生き物に関する春本氏の詳しい説明に

子供たちは興味津々で、最後は「いろいろな生きものを知ることができて良い勉強になりました。」と感想を述べていました。

次回は、9月上旬に稲の観察と雑草遊びを行う予定です。(農村整備部)

## コラム

### ■県南地方の農業施設の紹介【第3回】「西郷ダム」



西郷ダム  
堤高:32.5m  
堤長:220m

「西郷ダム」は、阿武隈川の最上流に位置する農業用ダムです。

阿武隈川水利事業として昭和17年に着工し、実に13年の長きにわたる工期を経て、昭和30年5月に完成しました。折しも第二次世界大戦の最中の着工であり、資材や労働力不足等で事業は一時中断に追い込まれることもありましたが、地元の強い要望と、関係者の努力により、無事完成しました。

ダムの形状は、主に土を用いて台形状に形成したアース式を採用し、堤高は32.5m、堤長は220mあります。

阿武隈川への放流による代かき用水の補給が主な目的で、白河市、西郷村、泉崎村、中島村、石川町の1市1町3村の水田約2,400haを潤しています。

ダムの管理は、阿武隈川上流土地改良区が行っています。

東日本大震災により堤体や上流側のり面の変状が発生し、ダムの安定性が懸念される状態となりましたが、関係機関が営農と用水の調整をしつつ、国直轄の災害復旧事業の実施により復旧しました。

(農村整備部)

■飼料用米等の新規需要米の取組計画書の提出期限が7月末日まで延長されています。

飼料用米等に取り組む農業者等は、需要者との販売契約書等の必要書類とともに取組計画書を地域センターに提出する必要があります。

(農業振興普及部)

農林水産省 飼料用米関連情報ページ

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/siryouqa.html>



■農地中間管理事業による農地の借り受け希望者(受け手)の募集があります。

農地中間管理機構(福島県農業振興公社)を通じて農地を借り受けたい方は、平成27年8月3日から9月4日までエントリーシートを公社または市町村担当課に提出してください。次回の募集は12月となる予定です。(農業振興普及部)

公益財団法人福島県農業振興公社ホームページ

[http://www.fnk.or.jp/work/work01\\_01.html](http://www.fnk.or.jp/work/work01_01.html)



■「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン

旬の農林水産物をPRし、消費拡大を推進するためのキャンペーンを開催します。

旬の野菜などがあたる無料くじを行いますので、是非ご来場ください。(企画部)

【第2回】

○日時:8月1日(土)午前中

○場所:みりょく満点物語(棚倉町)

【第3回】

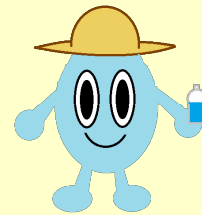
○日時:8月8日(土)午前中

○場所:東ふれあいの里直売所(白河市東)

熱中症に注意！！

暑い日が続いています。

十分な休憩と、適度な塩分・水分補給を心がけましょう。



(農業振興普及部)

■県産農林水産物安全・安心ツアー

ふくしまの農林水産物生産者との交流、加工や収穫体験などを通して、親子で楽しみながら学べるバスツアーです。

【ツアー予定日:8月19日(水)】

詳細が決まりましたら、県南農林事務所のホームページで募集しますので、是非ご参加ください。



(<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36230a/>)

(企画部)

■農産物モニタリングについて

平成27年度も福島県産の農林水産物について、モニタリング検査を実施しています。

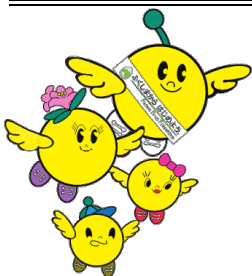
県南地方の野菜は、4月から7月2日までに93件検査しましたが、全て「検出せず」となっています。

詳しくは、ウェブサイト「ふくしま新発売。」をご覧ください。

(<http://www.new-fukushima.jp/>)



(企画部)



農林業に関する相談などお気軽に御連絡ください！

福島県県南農林事務所 企画部

〒 :961-0971

住所:福島県白河市昭和町269[白河合同庁舎]

電話:0248-23-1577

平成27年7月9日発行



ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.